

info DRIVE ジャマガジン

Jamagazine

Japan Automobile

Manufacturers Association

日本自動車工業会 広報誌



JAMA vol.53
2019
[June]

月号
6

特集

令和初の自工会 会長会見「令和元年度 定時総会懇親会」

現地発

第18回上海モーターショー

自工会・2019年

春の交通安全キャンペーンのご案内

2019年春の褒章

自動車博物館関連施設紹介シリーズ


いすゞ/いすゞプラザ




JAMA

一般社団法人 日本自動車工業会

2019年6月自動車関連イベント

 は四輪車レース

 は二輪車レース

国内主要イベント

日時	場所	名称
6月 8-9日	愛知県 ポートメッセなごや	名古屋ノスタルジックカーフェスティバル2019
6-7日	大阪府 インテックス大阪	運輸・交通システムEXPO
13-14日	大阪府 グランフロント大阪	ET West & IoT Technology West 2019

国内モータースポーツ

日時	場所	名称
6月 1-2日	静岡県 富士スピードウェイ	 スーパー耐久 第3戦
1-2日	広島県 世良グリーンパーク弘楽園	 全日本モトクロス選手権 第3戦
6-9日	群馬県 嬬恋村 / 長野県 須坂市	 全日本ラリー選手権 第5戦 モントレー2019
16日	福島県 エビスサーキット	 全日本スーパーモト選手権 第3戦
23日	宮城県 スポーツランドSUGO	 スーパーフォーミュラ 第3戦
23日	福島県 エビスサーキット	 FORMULA Drift Japan 第2戦
23日	茨城県 筑波サーキット	 全日本ロードレース選手権 第4戦
23日	栃木県 ツインリンクもてぎ	 全日本トライアル選手権 第3戦
29-30日	茨城県 筑波サーキット	 D1グランプリ Rd.1&2 TSUKUBA DRIFT

海外主要イベント

日時	場所	名称
6月 10-12日	アラブ首長国連邦 ドバイ	オートメカニカドバイ 2019

海外モータースポーツ

日時	場所	名称
6月 2日	イタリア ムジェロサーキット	 Moto GP 第6戦 イタリアGP
9日	カナダ ジル・ヴィルヌーヴサーキット	 F1 第7戦 カナダGP
9日	スペイン ヘレスサーキット	 ワールドスーパーバイク 第6戦
9日	ドイツ モートルシュポルト・アリーナ・オッシャースレーベン	 EWC 第4戦 オッシャースレーベン8時間
13-16日	イタリア アルゲーロ	 WRC 第8戦 ラリー イタリア
15-16日	フランス サルトサーキット	 WEC 第8戦 ル・マン24時間
16日	スペイン カタルーニャサーキット	 Moto GP 第7戦 スペインGP
22日	スイス ベルン市街地コース	 FORMULA E 第11戦 ベルンE-PRIX
23日	フランス ポール・リカルド・サーキット	 F1 第8戦 フランスGP
23日	イタリア ミサノ・ワールドサーキット・マルコ・シモンチェリ	 ワールドスーパーバイク 第7戦
30日	オランダ TTサーキットアッセン	 Moto GP 第8戦 オランダGP

JAMAGAZINE 2019年 6月号

発行日 2019年5月31日
発行人 一般社団法人 日本自動車工業会
発行所 一般社団法人 日本自動車工業会
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館
広報室 kouho2@mta.jama.or.jp

©禁無断転載：一般社団法人 日本自動車工業会

02

特集

令和初の自工会 会長会見 「令和元年度 定時総会懇親会」

08

現地発

第18回上海モーターショー

12

2019年度 JAMA/JAF/全安協 セーフティトレーニング& シニアドライバースクール

14

自工会・2019年 春の交通安全キャンペーンのご案内

15

一般社団法人 日本自動車工業会 役員名簿

16

会長コメント ニュースリリース(2019年5月21日付)

17

2019年 春の褒章

18

Topics

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会で ビジョンムービー公開中！ 地域や業界を超え、ひとつになろう

19

第7回カーデザインコンテスト 受賞者と作品紹介【パートI】

20

自動車博物館関連施設紹介シリーズ

いすゞいすゞプラザ

21

記者の窓

「想像力を超える変化」 東京新聞 森本 智之



- 1 令和初の自工会 会長会見
- 2 第18回上海モーターショー
- 3 第7回カーデザインコンテスト
- 4 いすゞいすゞプラザ

●JAMAGAZINEは自工会WEBサイトからもご覧いただけます

[www.jama.or.jp/lib/
jamagazine/index.html](http://www.jama.or.jp/lib/jamagazine/index.html)





昭和、平成を経て『令和』へ 「ホームプラネット」という 視点を大切に

《豊田会長 挨拶》
平成の時代は、
日本のものづくりを必死に守り抜いた
大震災の復旧・復興でオールジャパンに

豊田でございます。はじめに、天皇陛下のご即位ならびに新たな元号、令和のはじまりを心よりお慶び申し上げます。令和初の自工会会見となります。皆さま、新しい時代もよろしくお願ひ申し上げます。

自工会も、昭和、平成、令和、3つ目の時代を迎えることとなりました。「平成は、どんな時代だったか？」昨年からそんなご質問を沢山いただきました。自動車産業の平成をひとりで申し上げますと、縮小を続ける市場、度重なる自然災害の中で、日本のものづくりを必死に守り抜いた30年ということだったと思います。

もうひとつ、平成の自工会として私の記憶に強く残っておりますのは自動車業界がオール

ジャパンになった時のことでした。東日本大震災の時、私たちは、1人でも多くの笑顔を取り戻したいと、復旧・復興にむけ、心をひとつにすることが出来ました。各社が自社の利益を優先することなく、ひとつになつて取り組めたことは、つらい思い出の中ではありますが、良い記憶として残っております。では、「令和を、どんな時代にしたいか？」4月以降、そんなご質問をいただくだろうと、その答えを考えながら過ごしてまいりました。





令和は、昭和、平成の課題に引き続き取り組み
美しい故郷を「ホーム・プラネット」
という概念で守っていく

私ども自動車産業の令和は「ホーム・プラネット」という視点を大切にしていきたい」と考えております。先ほども震災のことに触れましたが、日本では近年、自然災害が度重なり、尊い命が失われ、また多くの方がそれまで普通にあった生活を失っています。世界的にもこうした災害は続いており、悲しみが絶えません。要因のひとつには、地球温暖化があると思います。また、温暖化以外にも地球規模の課題は、大気汚染、エネルギー問題など沢山ございます。どれも昭和に始まり、平成の時代にも解決できず、深刻になっていったものばかりであり、いずれも自動車のひとつの要因であることは、残念ながら事実だと思います。

交通事故もゼロにはなりません。便利さ、楽しさといったクルマのプラスの面が大きくなった一方で環境汚染や交通事故など、未来へ残してはいけないマイナスの面がまだまだ残されてお

ります。プラスの面をもっと大きくして、お客様に笑顔になっていただくということにも、引き続き取り組んでまいります。が、それだけではなく、次の世代が安心して暮らすことのできるこの美しい故郷を守っていく。すなわち、マイナスの面をミニマイズしていくということも、我々自身で絶対にやり遂げなければいけないと思っております。

当たり前ですが、我々が生きるこの星は、空も海も繋がっておりますので、持つべき視野は、地球規模でないといけないと思います。生まれた町や国を愛するよう、世界中のみんな



の故郷であるこの星を愛し、美しい故郷を引き継いでいくことが、私たちの世代に課せられた責任だと思えます。だからこそ、「ホームタウン」、「ホームカントリー」に加え、「ホーム・プラネット」という概念が、いま我々に求められているのだと思っております。



日本は世界に先駆け、様々な電動化に対応 元気に輝く日本を取り戻したい

自動車産業は、これまでも新たな環境技術開発に積極的に取り組んでまいりました。ただ、どんなに優れた技術でも、普及しなければ世の中のお役に立つことはできません。国によって環境問題の状況や、クルマの使われ方は異なります。地球上のどんなお客様のご要望にもお応えしていくためには、様々な電動車をフルラインナップで取り組んでおくことが必要だと思っております。ハイブリッド、プラグイン、燃料電池、そしてピュアEV。今の日本の自動車産業は、どの国よりもそれぞれの取り組みが進んでおります。「環境技術を普及させることで、地球という美しい故郷、ホームブーラネットを守りたい」それを、我々日本の自動車産業が、世界に先駆けていければと願っております。

新しい時代の幕が開けた時、お客様でも少しお休みをいただいております。落ち着いた時間を過ごさせていただく中で、「皇位継承に伴い、新しい時代

を迎えるということは日本らしさの一つだな…」など思いながら、日本という国に生きているからこそ感じられる、ありがたみのようなものを感じておりました。残念ながら、平成の日本は、他国に比べ成長が鈍化してしまいました。新たな時代を迎え、元気に輝く日本を取り戻したい。そんな想いに至ったのは、私だけではないと思います。日本が世界のお役に立てる、そして世界に感謝されるような日本

競い合いながらも力を合わせ、 国とも一体となり 世界からあてにされる自動車産業に

令和には「人々が美しく心寄せあう中で文化は花開く」という意味があると聞きました。先ほど申し上げました「故郷である地球、ホームブーラネット」への想いを持って、みんなが心を寄せ合える、オールジャパンになっていければ、世界の人々から「日本の自動車があつてよかった。あり

なる。新たな時代は、そんな風に輝く日本になっていければと願っております。大変革を迎えた我々、自動車産業は、そんな力になれると信じております。しかし、1社だけ、1産業だけの頑張りで大変革を力に変えていくのは難しいかもしれません。自動車各社が競い合いながらも力を合わせていく。そして、業界を超えた他の産業の皆さまとも仲間になっていく。更には、国とも一体となり、色々のご支援いただけてはじめて思いを叶えていけるように思っております。

がとう。」と言ってももらえるようになれると信じております。そんな自動車産業になっていきましよう！

皆さま、どうか引き続き、私どもをご支援いただければと思います。よろしくお願いたしました。ありがとうございます。

令和元年度 重点方針

[現状認識]

CASEの急速な進展、異業種を含む競争激化

「100年に一度の大変革の時代」に突入。一刻の猶予も許されない瀬戸際の戦い。

- 異業種参入による環境変化に対して、“スピード感”ある変革が必要。

日本の社会課題が深刻化

高齢化の進行、都市化率の上昇、気候変動規制、省エネ・再エネの普及促進など、世界に先駆けて取り組まなくてはならない課題が山積。

- 課題解決に向けて、業界の枠を超えた連携・協調の取り組み拡大が必要。

国内市場の低迷

少子高齢化等による構造的な市場縮小が継続的課題。シェアリングエコノミーの波も押し寄せる。

- 市場活性化につながる魅力的なクルマづくり、新たな価値の創造が必要。

[目指すべき姿]

**モビリティを通じて
全ての人々を幸せにする存在に。**

**全ての人・モノの移動の自由を確保し、
寄り添い、支える**

- 生活をもっと便利にする、コネクティッド技術とAIを活用した新たなモビリティの提案。
- 高齢者や障がい者を含め全ての人々に新たな移動の手段を提供。

**基幹産業として
日本経済の持続的成長への貢献**

- 雇用創出
- 納税
- 将来を支える技術の開発・普及で社会的課題を解決（交通事故ゼロ、低炭素社会の実現等）

重点方針の3本柱～“オールジャパン”での活動推進～ 「ホームプラネット」の想いを意識し未来のモビリティ社会の発展に貢献

1. 未来のモビリティ社会の実現

産官学・異業種との連携により、モビリティを通じた社会課題の解決・新たな価値創造に貢献する。

CASEの進展を踏まえ、安全・安心、環境に優しいモビリティ社会像の具体化、および実現に向けた必要施策の明確化

2. 次世代につなぐ豊かなクルマ・バイク文化の創造

東京モーターショーや東京オリンピック・パラリンピックを活用し、次世代のクルマ・バイクファンづくりや豊かなライフスタイルの実現につなげる。

1) クルマ・バイクファンの育成・拡大

- クルマ・バイク好きが主役となり、楽しめる機会の提供。
- テクノロジーがもたらすモビリティの新たな可能性、魅力を次世代を担う若者を中心としたファン拡大。

2) 東京モーターショーや東京オリンピック・パラリンピックを活用した、情報発信力強化

- 全ての人・モノの移動をより助け、もっと便利にするテクノロジーを通じたモビリティの付加価値の提案。

3. 持続的発展を支えるビジネス環境の整備

国内外でのより自由で公正なビジネス環境に向けて取り組み、持続的成長に貢献。

1) 日本経済の活性化に資する課題への適時適切な対応

- 自動運転等の制度整備の推進、次世代自動車等の実用化と普及につながる活動の推進。
- サプライチェーン全体への適正取引の推進など国内関係団体との連携・協力。

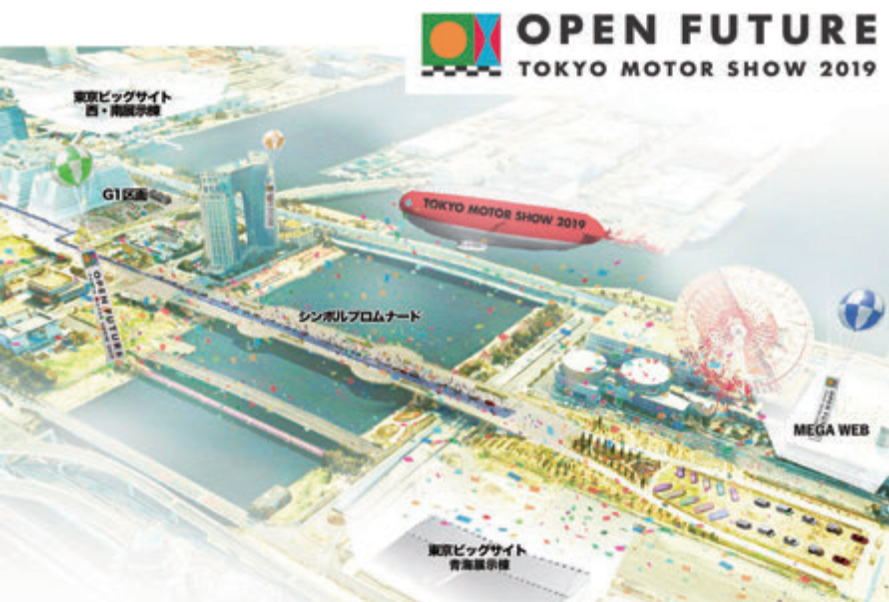
2) 自由貿易の推進、グローバルなビジネス環境の改善

- ビジネス影響が大きい協定等の交渉動向に関する情報収集や政府への働きかけを推進。

日本で育ち、育てられ 日本の企業でよかったと思えるように



石井啓一国土交通大臣、世耕経済産業大臣、小池百合子東京都知事をはじめ、多くの国会議員の先生方や自動車関連団体、企業の方など887人がお越しになりました



パーティー会場内での笑顔の会長

さて、時節柄、各社の決算が出てくるタイミングでございます。各社の数字を拾える範囲で言いますと、日本自動車株式会社というのがあったら、それはいったいどうなるか見てみると、売上は、30年間で大変伸びておりますが、伸びているのは連結であり、単独はそれほど伸びていないというのが実態でございます。平成の初めには、単独は連結の8割であったものが、今回の決算では、単独は連結の4割になってしまつたということがございます。

平成の経済は、米国と中国を中心に伸びていた中で、日本自動車株式会社の活動は、日本から海外へどんどんシフトして参りました。これをもって日本自動車株式会社の資本構成も調べてみました。この会社の株主は、3割が海外の投資家、これも平成の初め頃は、ほとんどが日本の投資家であったことを考えますと、どつなのかなと思います。

でも日本の自動車株式会社なので、納税はしっかりと日本でさせていたれています。2兆円ほど納税金を払っています。さらに関連産業、ユーザー、就業



者を含めた産業全体でみれば15兆円。そして雇用も産業全体で500万人以上あります。活動も海外、資本も海外、日本自動車株式会社、日本自動車工業会というものの、頭に付いている日本で、いったい何なんだろう。アイデンティティーっていったい何だろう。母国っていったい何なのだろう。疑問が湧いてしまうのは、私だけではないと思います。

ちよつと改元のタイミングと合ったこともあり、日本のことをよく考えました。皇位継承などをみながら、日本という国に生きているからこそ、感じられる、ありがたさ。ありがたみというものを感しております。

さきほどの話に戻りますと、日本自動車株式会社は、グローバル企業の集まりであり、やはり、日本で生まれ、日本で育てもらった企業が構成されています。やはり、日本が母国だと思返し、日本の企業でよかったと思えるようになっていきたいと思っております。

平成30年も同じように思ってきましたからこそ、石に嘔り付きながら、リアルの世界を守ってきました。しかし、このまま日本国内の生産が減ってしまったら、正直、守り切れなくなると思います。日本はますます世界と戦っていけなくなる。ましてや雇用も守れなくなってしまう。令和の日本を、そんな風にしたくないと思っております。

日本メーカー6社など20カ国1千社以上が出展 最新モデルや自動運転、5Gにもフォーカス



EVや5Gに関する展示が目立った

中国・上海市で「第18回上海モーターショー」が4月16~25日に開催されました。開催テーマは「よりよい人生を創造する」で、日本メーカー6社をはじめ、20カ国から1千社以上がコンセプトカーや新型モデル、新技術に関する製品などを出展しました。また、新エネルギー車 (NEV) 規制などの政府の取り組みを後押しするかたちで中国メーカー各社が電気自動車 (EV) を相次ぎ発表しました。また乗用車・商用車や自動車部品のブースに加えて、今回初めての試みとなる「将来のモビリティ」にフォーカスしたフロアを設けて自動運転や5Gなど中国で大きく発展している分野をアピールする様子もみられました。

《トヨタ》 新EVモデルを世界初公開 電動化もつとむ クルマづくりを軸に

トヨタ自動車は、新たなEV

日本メーカーからは6社が出展し、世界初公開のコンセプトカーや新型車などニューモデルを展示。各社とも中国市場重視の戦略を打ち出していました。



〈トヨタ〉
EVモデル「C-HR」

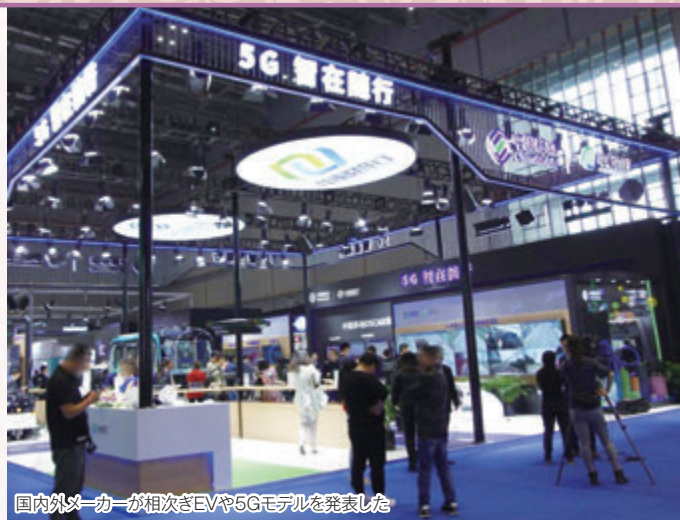
モデルの「C-HR」と「イゾア」を世界初公開しました。両モデルは2020年から中国で販売を開始する予定で、20年代前半にはグローバルでEVを10車種以上に拡大する計画があります。吉田守孝副社長は特許の無償提供やエコカー普及によるC



〈トヨタ〉
EVモデル「イゾア」



〈レクサス〉
「LM300h」



国内外メーカーが相次ぎEVや5Gモデルを発表した



〈日産〉
コンセプトカー「iMs」



〈日産〉
新型「シルフィ」

CO₂削減の実現について触れ、「中国市場では電動化と、もっといいクルマづくりを軸に開発していく」と意気込みを述べました。また中国市場ではTNGA（トヨタニューグローバルアーキテクチャー）で7車種目となる「RAV4」も同時に発表しました。吉田副社長は「20年までに中国市場では7割をTNGA仕様にする」と話しており、これに合わせてプラットフォームも刷新しました。その他、新たに市場に投入する「ヴェルファイア」も展示し、注目を集めました。

〈日産〉
新型「シルフィ」世界初公開
「ニッサン・インテリジェント・モビリティ」を投入

日産自動車は、全面改良した新型「シルフィ」を世界初公開しました。踏み間違い衝突防止アシストなど先進運転支援技術や安全装備を多数搭載し、ボイスコマンド機能を採用するなどコネクティビティ性能も向上させており、最新の「ニッサンインテリジェント・モビリティ」を中国市場に投入していく考えです。パワートレーンには、最新の「HR16DE型」エンジンとエクストロックCVTを採用し、燃費性能を向上させました。低い重心と流線形のエクステリアデザインで空気抵抗を低減し、「GTR」と同等のCd値0.26を実現しています。フロントには日産デザインを象徴するVモーショングリルを、リヤにはブーメラン型のLEDライトを採用しました。またスポーツセダン型のコンセプトカー「iMs」と、クロスオーバーのコンセプトカー「iMQ」も同時に展示し、中国市場に向けて技術力をアピールしました。

〈レクサス〉
「LM300h」世界初公開
新たなユーザー取り込み

トヨタ自動車は、レクサスブランドでは初となるミニバン「LM300h」を世界で初めて公開しました。新型車はレクサスで5番目となるフラッグシップモデルで、高級ミニバンに位置付けられています。ベース車はヴェルファイア／アルファードで、富裕層向けとして新たなユーザー層を取り込みたい考えです。



〈ホンダ〉
EVのコンセプトカー「X-NVコンセプト」



〈ホンダ〉
「e-Prototype ハイブリッド」

〈ホンダ〉

EVコンセプトカー世界初公開

電動化に向けた 取り組みを推進

ホンダは、東風ホンダと共同開発したEVのコンセプトカー「X-NV（エクスエヌブイ）コンセプト」を世界初公開しまし

た。广汽ホンダが2018年に発表した「理念VE1」に続くEVモデルとなり、量産型EVとして今年後半からの販売開始を目指しています。また同時に广汽ホンダで4月末に発売を予定している「オデッセイハイブリッド」も公開し、若い世代をターゲットに訴求していく

考えを示しました。本田技研科
技（中国）の水野泰秀総経理は
「昨年発表した、2025年ま
でに中国市場において20車種以
上の電動化モデルを投入する
という中期目標に向かって、着実
に邁進していきます」と話し、電
動化に向けた取り組みを一層進
めていく計画です。

〈三菱〉

「e-Yi」コンセプトを

アジアで初公開

広州自動車集団と協業推進

三菱自動車は、プラグインハイブリッドEV（PHEV）で、次世代クロスオーバーSUVのコンセプトカー「e-Yi（イーイー）コンセプト」をアジアで初公開しました。独自の電動化技術や4WD技術を採用入れており、先進運転支援（ADAS）やコネクテッドカー技術も備えています。益子修会長CEOは「わが社の強みは、パートナーである広州自動車集団の存在だ。両社の強みを生かし、電動車の共同開発やコネクテッド、自動運転、カーシェアリングなどの領域で



〈三菱〉
「エクリプス クロス」も展示



〈三菱〉
PHEVコンセプトカー「e-Yiコンセプト」



〈マツダ〉
コンセプトカー「ビジョンX」



〈スバル〉
クロスオーバーSUV「XV」のラリー仕様

協業を進めていく」と話しており、技術力で他社との差別化を図っていく考えです。また、广汽三菱ブランドとして、昨年からは販売開始した電動SUV「チーTSEEV」「チーTSEEV PHEV」を出展しました。中国で現地生産している「エクリプスクロス」や「アウトランダー」も展示しました。

《マツダ》
「ビジョンX」を公開
マツダの美を中国でアピール

マツダは、次世代デザインを表したコンセプトカー「ビジョンX」を公開しました。マツダのデザイン言語「魂動」を日本の美意識に基づいて進化させたシンプルなフォルムを中国市場でもアピールしたかたちと

なりました。その他「SKYACTIV-X」のガソリンエンジンも展示しました。

《スバル》
「XV」のラリー仕様車展示
チャイナ・ラリー使用
モデルが注目

スバルはクロスオーバーSUV「XV」のラリー仕様車を展示しました。中国国内のチャイナラリーで使用されているモデルで、多くの人が注目していました。

《いすゞ、ホンダの2輪》
現地の合弁企業が展示
中国での独自性示す

いすゞ自動車は現地の合弁企業が主体となり「将来のモビリティ」ブースに出展し、各種取り組みを紹介しました。その他、ホンダは2018年に発表した電動二輪車「V-GO」などを出展。次世代スポーツバイクのコンセプト「ネオ スポーツ カフェ」を基にした二輪車についても出展しました。

北海道から沖縄までの全国78会場で開催

交通事故防止に有効な参加体験型の安全運転実技講習会

一般社団法人日本自動車工業会(以下 JAMA)は、一般社団法人日本自動車連盟(以下JAF)及び一般財団法人全日本交通安全協会(以下全安協)との共催で、警察庁、国土交通省の後援を得て、今年度も一般のドライバーを対象とした“セーフティトレーニング”と50歳以上のベテランドライバーを対象とした“シニアドライバースクール”を、北海道から沖縄までの全国78会場で開催します。JAMAは、政府の掲げる「世界一安全な道路交通の実現」を目指し、両講習会を通じて安全運転の啓発と交通事故防止に努めてまいります。

JAMA/JAF/全安協 セーフティトレーニング

- セーフティトレーニングは、普通運転免許取得後1年以上の方を対象として、安全運転に欠かせない運転の基本操作「走る・曲がる・止まる」、「見る・判断する・操作する」を実際の運転を通じて再確認し、安全運転技能の向上を図ることを目的に平成3年度より開催しております。昨年度は517名が参加し、これまでの参加者数は約15,000名に上っています。
- カリキュラム内容は、運転の基本確認を始めとして、スラローム走行、ブレーキ体験、危険からの回避体験、先進安全技術を装備した自動車(以下ASV*)の理解など、実際の交通場面に対応した内容となっています。
- ASVの理解については、衝突被害軽減ブレーキの体験などを通じて機能の正しい理解促進を図ります。
- 今年度は2019年5月11日(土)から全国28会場で順次開催しています。

*ASV(Advanced Safety Vehicle)

2019年度「セーフティトレーニング」開催計画(2019/4/11時点)

No.	地方本部	主催支部	開催予定日	曜日	会場	全半日別
1	北海道	札幌	8月3日	土	札幌運転免許試験場	半日
2	東北	宮城	6月30日	日	宮城県運転免許センター	半日
3		福島	10月19日	土	エビスサーキット	全日
4	関東	東京	5月25日	土	東京サマーランド	全日
5		新潟	6月2日	日	新潟県運転免許センター	全日
6		神奈川	7月3日	水	鴨居自動車学校	半日
7		茨城	8月24日	土	茨城県警察運転免許センター	全日
8	中部	長野	10月6日	日	中南信運転免許センター	全日
9		栃木	11月3日	日	栃木県運転免許センター	全日
10		群馬	11月17日	日	群馬県総合交通センター	全日
11		埼玉	12月8日	日	埼玉県トラック総合教育センター	全日
12	関西	千葉	2月29日	土	千葉幕張運転免許センター	全日
13		愛知	6月2日	日	キョウセイドライバーズランド	全日
14		静岡	6月8日	土	静岡県中部運転免許センター	全日
15	中国	岐阜	9月23日	月・祝	日本ライン自動車学校	半日
16		大阪	5月21日	火	舞洲スポーツアイランド	全日
17	四国	奈良	6月17日	月	橿原中央自動車学校	半日
18		兵庫	6月25日	火	東条湖おもちゃ王国第3駐車場	全日
19	九州	京都	11月30日	土	京都府運転免許試験場(予定)	半日
20		岡山	9月28日	土	岡山県運転免許センター	半日
21	沖縄	広島	10月27日	日	広島県運転免許センター	全日
22		香川	5月11日	土	ホンダセーフティトレーニングセンター四国	半日
23	九州	福岡	5月21日	火	八幡自動車学校	半日
24		佐賀	9月29日	日	佐賀県運転免許試験場	半日
25	九州	福岡	10月7日	月	東福岡自動車学校	半日
26		宮崎	10月14日	月・祝	宮崎県総合自動車運転免許センター	半日
27		鹿児島	10月19日	土	鹿児島県運転技能向上センター	半日
28	九州	沖縄	11月30日	土	沖縄県運転免許センター	半日

【2019年度 セーフティトレーニング開催概要】

主催：一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)
 一般社団法人 日本自動車工業会(JAMA)
 一般財団法人 全日本交通安全協会(全安協)

後援：国交省、警察庁

趣旨：クルマの特性と性能の限界、ドライバーの特性や能力などの理解を通じ、実践的な安全運転技能の向上を図るとともに、安全運転の重要性を広く社会に喚起する。

開催日程：2019年5月から2020年1月までの間、全28会場で順次開催予定(2019年4月11日時点)

参加資格：普通自動車免許所持者で免許取得後1年以上の方
 但し、未成年者は親権者の承諾が必要

募集人数：各会場30人(応募者多数の場合は抽選)
 *会場によって一部異なる

使用車両：参加者の自家用乗用車(3・5・7ナンバーの任意保険加入車：ABS付車両に限る)

講習時間：全日コース 約6時間(休憩含む)、半日コース 約4時間

参加料：JAF会員
 全日コース 2,857円(税抜き)、
 半日コース 952円(税抜き)など

申し込み方法：WEB受付・電話・FAX・メール等

主な講習内容：◆運転の基本確認(クルマの点検・運転姿勢・車の死角確認)
 ◆パイロンスラローム
 ◆信号を使った反応ブレーキ(急ブレーキ体験)
 ◆滑りやすい路面でのブレーキ体験(ABS作動体験)
 ◆危険回避
 ◆ASV(先進安全自動車)の同乗体験などを通じた機能の正しい理解
 ※会場によって内容は異なる

JAMA/JAF/全安協 シニアドライバースクール

- シニアドライバースクールは、高齢移行期(50～64歳)を含む高齢ドライバー(免許取得後1年以上の方)を対象とし、高齢者の身体機能や運転特性に応じたカリキュラムにより、自らの運転を振り返り、安全運転に繋げていくことを目的に平成8年度より開催しています。昨年度は750名が参加し、これまでの参加者数は約9,800名に上っています。
- カリキュラムの内容は、高齢者に多い事故の防止に役立つ衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置などの体験を通じたASVの理解、運転の基本確認を始めとして信号システムを利用した急ブレーキ体験、見通しの悪い交差点における安全な通過方法、他のドライバーの運転行動を映像で観察して自身の運転を振り返る講習など、高齢者の交通事故防止に有効なプログラムを実施するなどとなっています。
- 今年度は2019年5月11日(土)から全国50会場で順次開催しています。

【2019年度 シニアドライバースクール開催概要】

主催：一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)、一般社団法人 日本自動車工業会(JAMA)
一般財団法人 全日本交通安全協会(全安協)

後援：国交省、警察庁

趣旨：高齢社会となった現状を踏まえ、高齢者(シニア)および高齢移行期の50歳以上のドライバーを対象に、実践的な教育プログラムで講習会を開催し、交通安全に寄与すると同時に、安全運転の重要性を広く社会に喚起する。

開催日程：2019年5月から2020年2月までの間、全国50会場で順次開催予定(2019年4月11日時点)

参加資格：50歳以上の普通自動車免許所持者 但し、免許取得後1年以上の方
募集人数：各会場30人(応募者多数の場合は抽選)*会場によって一部異なる
使用車両：参加者の自家用乗用車(3-5-7ナンバーの任意保険加入車:ABS付車両に限る)
講習時間：全日コース 約6時間(休憩含む)、半日コース 約4時間
参加料：JAF会員 全日コース 1,905円(税抜き)、半日コース 952円(税抜き)など
申し込み方法：WEB受付・電話・FAX・メール等
主な講習内容：◆運転の基本確認(クルマの点検・運転姿勢・車の死角確認)◆信号を使った反応ブレーキ(急ブレーキ体験)◆見通しの悪い交差点の安全な通過方法(多段停止安全確認の習得)◆いきいき運転講座(自分の運転を振り返る座学)◆ASV(先進安全自動車)の同乗体験などを通じた機能の正しい理解 ※会場によって内容は異なる

2019年度「シニアドライバースクール」開催計画(2019/4/11時点)

No.	地方本部	主催支部	開催予定日	曜日	会場	全半日別
1	北海道	札幌	8月24日	土	札幌運転免許試験場	半日
2		帯広	9月8日	日	おびひろ自動車学校	半日
3		函館	9月29日	日	函館中央自動車学校	半日
4		旭川	9月1日	日	北海道クミアイ自動車学校	半日
5	東北	福島	6月8日	土	福島県警察福島運転免許センター	全日
6		山形	6月29日	土	寒河江自動車学校	半日
7		岩手	7月27日	土	岩手県運転免許センター	全日
8		宮城	9月21日	土	宮城県運転免許センター	半日
9		青森	10月19日	土	青森県運転免許センター	全日
10		秋田	10月26日	土	秋田県運転免許センター	全日
11	関東	茨城	7月13日	土	茨城県警察運転免許センター	全日
12		栃木	7月21日	日	栃木県運転免許センター	全日
13		群馬	9月8日	日	群馬県総合交通センター	全日
14		新潟	9月29日	日	新潟県運転免許センター	全日
15		長野	10月5日	土	中南信運転免許センター	半日
16		東京	10月20日	日	東京運輸支局	全日
17		神奈川	10月30日	水	鴨居自動車学校	半日
18		千葉	11月23日	土	千葉幕張運転免許センター	全日
19		埼玉	1月31日	金	埼玉県トラック総合教育センター	全日
20	中部	愛知	5月19日	日	中部トラック総合研修センター	半日
21		三重	6月23日	日	四日市自動車学校	半日

No.	地方本部	主催支部	開催予定日	曜日	会場	全半日別	
22	中部	静岡	9月21日	土	静岡県中部運転免許センター	半日	
23		岐阜	10月14日	月・祝	多治見自動車学校	半日	
24		石川	10月20日	日	石川県運転免許センター	半日	
25		愛知	11月10日	日	茶屋坂自動車学校	半日	
26	関西	京都	5月11日	土	京都府交通安全協会自動車練習場	半日	
27		大阪	5月22日	水	舞洲スポーツアイランド	半日	
28		滋賀	5月28日	火	月の輪自動車教習所	半日	
29		奈良	6月10日	月	橿原中央自動車学校	半日	
30		京都	9月14日	土	京都府交通安全協会自動車練習場	半日	
31		大阪	9月30日	月	関西自動車学院	半日	
32		和歌山	10月19日	土	和歌山県運転免許センター	半日	
33		兵庫	10月25日	金	武庫川自動車学園	半日	
34		滋賀	10月29日	火	月の輪自動車教習所	半日	
35	中国	岡山	5月17日	金	岡山県トラック協会自動車運転練習場	半日	
36		広島	7月7日	日	広島モーターズスクール	半日	
37		山口	9月28日	土	山口県総合交通センター	半日	
38		鳥取	11月16日	土	イナバ自動車学校	半日	
39		島根	11月9日	土	島根県運転免許センター	半日	
40		広島	12月2日	月	広島中央自動車学校	半日	
41		四国	香川	9月14日	土	琴平ドライビングスクール	半日
42			愛媛	9月21日	土	愛媛県運転免許センター	半日
43			徳島	10月12日	土	徳島県運転免許センター	半日
44	高知		10月19日	土	高知県運転免許センター	半日	
45	九州	大分	5月26日	日	大分県自動車学校	全日	
46		福岡	6月17日	月	東福岡自動車学校	半日	
47		熊本	9月(予定)		八代自動車学校(予定)	半日	
48		長崎	10月27日	日	浦上自動車学校	半日	
49		福岡	10月29日	火	八幡自動車学校	半日	
50		熊本	11月(予定)		熊本ドライビングスクール(予定)	半日	

お問い合わせ先

開催日程・会場等の確認はJAFホームページをご参照ください。

●セーフティトレーニング

<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/safetytraining/index.htm>

●シニアドライバースクール

<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/senior/index.htm>

自工会・2019年 春の交通安全 キャンペーン のご案内

一般社団法人日本自動車工業会(会長:豊田 章男、以下自工会)は、5月11日(土)~6月10日(月)までの間、政府の実施する春の全国交通安全運動*と連動し、「自工会・2019年春の交通安全キャンペーン」を実施しています。

昨年の交通事故の発生件数は43万601件と前年より4万1,564件減少(-8.8%)し、死者数は3,532人と警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となりました。

しかしながら、高齢運転者による事故が多発するなど、交通事故の実態は依然として厳しい情勢にあります。

当会としては、2016年に政府が作成した第10次交通安全基本計画(平成28年度~32年度)において、世界一安全な道路交通を実現するため、2020年までに交通事故死者数を2,500人以下とする目標の実現に向けて、一層の車両安全対策に取り組むとともに、春の交通安全キャンペーン等を通し安全な交通社会の実現に貢献してまいります。

*主催:内閣府他、期間:5月11日(土)から5月20日(月)

春の交通安全キャンペーンの考え方

本キャンペーンは、一人ひとりの交通安全に対する意識を行動につなげて習慣化することを目的に実施。ポイントとして、日本人に古くから馴染みのある「おまじない」に着目し、日本交通心理学会協力のもと、心理学的に効果のある「おまじない」を開発しました。

開発した「おまじない(ミル・ベル・カチット:ちゃんと前を見て シートベルトをカチット締めて)」には、何度も唱え、記憶することで、日常的な交通安全行動を心掛けて欲しいという願いが込められています。



キャンペーンの訴求テーマ

●四輪テーマ

「後席を含めた全ての座席のシートベルト着用」

2018年の一般道でのシートベルト着用率は、運転席98.8%、助手席95.9%に対し、後部座席は38.0%と依然として低い状況となっています。

シートベルトを着用することで事故被害が軽減でき、致死率が約93%も下がることから、**後席を含む全ての座席でのシートベルト着用**が重要です。

「ながら運転防止の促進」

2018年の携帯電話使用等に係る交通事故件数は、2,790件と過去5年間で約1.4倍に増加しており、カーナビ等を注視中の事故が多く発生しています。また、死亡事故率を比較すると携

帯電話使用等の場合には、使用なしと比較して死亡率が約2.1倍であることから、**ながら運転を防止**することが重要です。

●二輪テーマ

「ヘルメットの正しい着用促進、胸部プロテクターの着用促進」

二輪車の死亡事故の約70%が、頭部・胸部が損傷主部位となり死亡しています。

また、二輪車乗車中の事故死者のうち3割以上が事故時にヘルメットの離脱をしていることから、二輪車の死亡事故リスクを減少させるためには、**あごひもをしっかりと締めるなどのヘルメットの正しい着用や、胸部プロテクターを着用**することが重要です。

○訴求のポイント

実施期間	2019年5月11日(土)~6月10日(月)
訴求内容	<ul style="list-style-type: none"> ●四輪乗車中の交通死亡事故抑止に向けて、ドライバー及び同乗者に対し、後席を含めた全ての座席のシートベルト着用を訴求する。 ●二輪乗車中の交通死亡事故抑止に向けて、二輪ライダー及び同乗者に対し、あごひもをしっかりと締めるなど、ヘルメットの正しい着用や胸部プロテクターの着用推奨を訴求する。
スローガン	春の交通安全のおまじない“ミル・ベル・カチット”車に乗ったら、ながら運転はせず、しっかりと前を“ミル” 全ての座席でもシート“ベルト”を、“カチット”締めよう。

○具体的展開

- タレント「柳原可奈子さん」が交通安全の魔法使いとして、「後席を含めた全ての座席のシートベルト着用促進」、「ながら運転の防止」、「ヘルメットの正しい着用促進、胸部プロテクターの着用推奨」を訴求。以下のメディアにてスペシャル映像を配信。
- 会員各社のホームページ、SNS等に交通安全キャンペーンサイトへのリンクバナーの設置。

YouTube	スペシャルムービーを配信
TV CM	全国ネット番組提供(テレビ朝日系列・5月14日放送・1回)
ラジオCM	ニッポン放送系列ネットスポット放送 5月1日~31日・月~金曜日放送
キャンペーンサイト	スペシャルムービーや、訴求テーマに基づく事故実態データが見られるキャンペーンサイトの開設 http://jama-cp-anzen.jp/



一般社団法人 日本自動車工業会 役員名簿 (令和元年5月13日現在)

会 長	豊田 章男	トヨタ自動車株式会社	代表取締役社長	(非常勤)
副 会 長	神子柴 寿昭	本田技研工業株式会社	取締役会長	(〃)
〃	西川 廣人	日産自動車株式会社	代表取締役社長 最高経営責任者	(〃)
〃	丸本 明	マツダ株式会社	代表取締役社長	(〃)
副会長・専務理事	永塚 誠一			(常勤)
常務理事	和辻 健二			(〃)
理事	片山 正則	いすゞ自動車株式会社	代表取締役社長	(非常勤)
〃	高橋 信一	〃	取締役 専務執行役員	(〃)
〃	原山 保人	スズキ株式会社	代表取締役副会長	(〃)
〃	鈴木 俊宏	〃	代表取締役社長	(〃)
〃	吉永 泰之	株式会社SUBARU	取締役会長	(〃)
〃	中村 知美	〃	代表取締役社長	(〃)
〃	三井 正則	ダイハツ工業株式会社	代表取締役会長	(〃)
〃	奥平 総一郎	〃	代表取締役社長	(〃)
〃	小林 耕士	トヨタ自動車株式会社	代表取締役副社長	(〃)
〃	寺師 茂樹	〃	取締役・副社長	(〃)
〃	佐藤 康彦	〃	執行役員	(〃)
〃	坂本 秀行	日産自動車株式会社	取締役 副社長	(〃)
〃	川口 均	〃	専務執行役員 チーフサステナビリティオフィサー	(〃)
〃	中畔 邦雄	〃	専務執行役員	(〃)
〃	市橋 保彦	日野自動車株式会社	代表取締役会長	(〃)
〃	下 義生	〃	代表取締役社長	(〃)
〃	八郷 隆弘	本田技研工業株式会社	代表取締役社長	(〃)
〃	倉石 誠司	〃	代表取締役副社長	(〃)
〃	尾高 和浩	〃	執行役員	(〃)
〃	小飼 雅道	マツダ株式会社	代表取締役会長	(〃)
〃	藤原 清志	〃	代表取締役副社長執行役員	(〃)
〃	安藤 剛史	三菱自動車工業株式会社	副社長執行役員	(〃)
〃	辻 昇	〃	専務執行役員	(〃)
〃	松永 和夫	三菱ふそうトラック・バス株式会社	代表取締役会長	(〃)
〃	ハートムット・シック	〃	代表取締役社長	(〃)
〃	柳 弘之	ヤマハ発動機株式会社	代表取締役会長	(〃)
〃	日高 祥博	〃	代表取締役社長 社長執行役員	(〃)
〃	ヨアキム・ローゼンバーク	UDトラックス株式会社	代表取締役会長	(〃)
〃	酒巻 孝光	〃	代表取締役社長	(〃)
理事・事務局長	矢野 義博			(常勤)
監 事	安田 政秀	トヨタ自動車株式会社	常勤監査役	(非常勤)
〃	吉田 正弘	本田技研工業株式会社	取締役監査等委員	(〃)
〃	杉山 雅洋	早稲田大学	名誉教授	(〃)

米国の輸入自動車・同部品に対する 通商拡大法232条調査への大統領判断について

一般社団法人 日本自動車工業会
会長 豊田 章男

トランプ大統領が、輸入自動車及び同部品が国家安全保障に対する脅威であると表明された事を大変残念に思います。また、日系自動車メーカーの長年に亘る米国での投資と雇用への貢献が歓迎されないかのようなメッセージには、日本の自動車産業として大変驚いています。

我々の会員企業は、お客様に最適な製品を提供することを第一に考え、全米28州に24か所の生産拠点、45か所のR&D拠点、39か所の物流拠点をもち、累計約510億ドルを米国に投資してきました。リーマンショックの際にも雇用維持に努め、現在93,000人超の直接雇用を創出し、経済波及効果も含めた雇用創出は160万人超にのぼるとの試算結果もでております。こうした日系自動車メーカーの長年に亘る米国での投資と雇用創出は、米国企業市民としての現地への貢献とコミットメントを示すものにほかな

りません。日本の自動車産業として輸入自動車・部品ならびに我々の事業活動が国家安全保障上の脅威になることはないことを確信しております。

あらゆる貿易制限的措置は、米国のお客様に大きな不利益をもたらすことに加え、米国生産車の国際競争力低下、企業による米国への投資意欲の抑制など、米国自動車産業と経済への深刻な打撃を与えるものです。我々は、国際ルールに基づく自由で公平な貿易・競争環境こそが、米国自動車産業の競争力の源泉であり、米国のお客様の利益と米国経済の持続的成長につながると考えます。

トランプ大統領に、今後も米国での雇用創出や経済発展への貢献を望む我々の想いをご理解いただき、日米両政府間協議が、両国の自動車産業や経済の発展につながる結果となることを、強く願っております。

「JAMA IN AMERICA: An Enduring Partnership」の発表について

一般社団法人 日本自動車工業会(以下 自工会、会長:豊田 章男)は、このたび、レポート「JAMA IN AMERICA: An Enduring Partnership」を、自工会北米事務所ウェブサイトにて発表した。米国における自工会会員メーカーの投資と雇用、生産状況、人材育成に関する取り組みなどを紹介するものであり、米国議会関係者、関係省庁、メディア関係者などに幅広く発信・配布を行っている。

なお、同レポートは自工会英文ウェブサイト<http://www.jama-english.jp/>にも掲載している。

レポートの概要は下記のとおり。

1. 2018年の投資と雇用、生産状況
 - 日系メーカーによる累計投資額は約510億ドル
 - 日系メーカーの生産台数は約370万台
 - 全米で93,599人の直接雇用を創出
2. 米国からの自動車輸出
 - 日系メーカーによる輸出台数は424,163台
3. 人材育成に関する取り組みの紹介
4. 社会貢献活動の紹介
5. 先進車両技術の紹介



QRコードより
ご覧いただけます。



褒章 元トヨタ自動車副社長の佐々木眞一氏に藍綬褒章

元トヨタ自動車副社長の佐々木眞一氏が産業振興功績で藍綬褒章を受章。

《経歴》

佐々木眞一氏（ささき・しんいち） 昭和21年12月18日生

【学歴】

昭和45年3月31日 北海道大学工学部機械工学科卒業

【職歴】

昭和45年4月1日にトヨタ自動車工業（株）入社、トヨタ自動車（株）取締役（昭和57年7月1日、トヨタ自動車販売（株）と合併し同上改称）、同社常務役員、同社専務取締役を経て、平成21年6月23日に同社代表取締役副社長、その後、同社相談役・技監、同社顧問・技監を経て、現在、同社技監。

【主な関係会社】＝トヨタモーターマニュファクチャリングフランス（株）取締役会長、トヨタモーターエンジニアリングアンドマニュファクチャリングヨーロッパ（株）取締役社長、トヨタモーターヨーロッパ（株）取締役社長、トヨタモーターマニュファクチャリングターキー（株）取締役会長、（株）名古屋グランパスエイト代表取締役社長、首都高速道路（株）取締役会長。

【主な民間団体歴】

（特非）ITS Japan会長、（学）名古屋電気学園愛名会会長、愛知日英協会会長、（一財）日本科学技術連盟理事長、（一社）中部品質管理協会会長、（一財）道路新産業開発機構代表理事・会長、ITS情報通信システム推進会議会長。

【受章喜びの声】

このたび、藍綬褒章受章の栄に浴し、身に余る光栄と存じております。

私は、昭和45年にトヨタ自動車に入社以来、一貫して車両の製造やサービスの品質管理、品質の保証部門に携わって参りました。年毎に高まるお客様のご期待、厳しさを増す環境、安全への規制等に対応出来て、今日製品やサービスの質の高さがトヨタ車のブランドとしてお認め頂ける様になりましたのは、ひとえに日々お客様と接している販売店の皆様からの的確な情報のご提供、種々の技術課題の解決に対し高い技術力で真摯にご協力頂いた仕入先の皆様のお陰であります。社内に於いては品質の工程保証への取り組みを温かく見守りつつ、適切なご指導ご支援をして下さった関係部署や職場の上司、仲間に恵まれ頑張る事が出来ました。微力ながらも自動車産業の発展にいささかなりともお役に立てました事は、この上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

この栄えある受章を励みといたしまして、近年推進しております“自工程完結の考え方の普及”を通じたオフィス業務の質向上活動を続け、日本産業の発展に少しでも貢献できるよう、さらに精進を重ねて参る所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく申し上げます。



オリンピック・パラリンピック等経済界協議会でビジョンムービー公開中! 地域や業界を超え、ひとつになろう

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて支援活動を展開している「オリンピック・パラリンピック等経済界協議会」がホームページで「ビジョンムービー」を公開しています。「2020年とその先のレガシー」をテーマに、経済界協議会の想いを形にしたビジョンムービー。地域や業界の枠を超え、全国の企

業人がひとつになる様子を、競技会場にメンバーが集まってくるストーリーで表現しています。

視聴者に「ひとつになろう。未来の子どもたちに何を残せるか。2020年はもうすぐだ」と参画を呼びかけます。これらの支援活動には自工会も参画しています。

Toward & Beyond 2020

オールジャパンで創る未来の子供たちのために残すレガシー

2020年とその先に、経済界は何をつくれるか。その想いで、経済界協議会は設立されました。

先人たちがつくった1964年の東京オリンピックとその未来。
次は、私たちがひとつになって次世代のための未来をつくる番です。

経団連・商工会議所・経済同友会を中心に全国の企業が自治体等と力をあわせ
ALL JAPANとなって東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会と
その先の未来、レガシーをつくっていきます。

————— ビジョンムービー公開中! —————



オリンピック・パラリンピック等経済界協議会	
最高顧問	御手洗 経団連名誉会長 岡村 日商・東商名誉会頭
常任顧問	中西 経団連会長 三村 日商・東商会頭 櫻田 経済同友会代表幹事
会長	豊田 経団連 オリンピック・パラリンピック等推進委員長
委員	経団連副会長/日商・東商副会頭 経済同友会副代表幹事/主要スポンサー企業役員 など



QRコードよりご覧になれます。

カーデザイナーの育成に向け自技会、自動車メーカーの取り組み

このコンテストは自動車技術会主催で、カーデザイナーの育成を目的にしています。すでに今年で7回目を迎え、カーデザイナーを目指す中、高校生には公募企画として認知されてきています。今回は「10年後の暮らしを楽しくする乗り物」をテーマに募集。全国から過去最多386件の応募がありました。自動車メーカーをはじめ、部品メーカーなどの現役デザイナーが審査を担当。厳正な審査を経て、カーデザイン大賞1点、カーデザイン賞2点、ダビンチ賞2点、審査員特別賞1点、佳作25点が選ばれました。パートI・II・IIIの3回で受賞者と作品を紹介します。

カーデザイン大賞

旅路-Tabiji-

岩片 智さん(東京都立工芸高等学校2年)



岩片さん(左)
受賞後に現役カーデザイナーからアドバイスを受ける

《講評》二度の佳作と、昨年のカーデザイン賞を受賞し、毎年着実に進歩し、ついにカーデザイン大賞を獲得するという快挙を成し遂げました。たくさんのアイデアを洗練した日本的な雰囲気や美しいスタイリングにまとめている。それはカラーリングや、扇形のシルエットに入れた斜めのアクセントライン、画面を丸にしたアイデアなどで表現されている。社会の変化を良く理解し、近年増え始めたインバウンドを対象とした提案は、日本国内のグローバル化に役買う、とても素晴らしい提案です。

カーデザイン賞 (高校生の部)

南極救助隊2029 サーチ・ドローン搭載車

林 侑太朗さん(三重県立飯野高等学校2年)



林さん(右)
受賞後に現役カーデザイナーからアドバイスを受ける

《講評》地球規模の冒険心を駆り立てる胸のすく提案が審査員の心を捉えました。雰囲気があるスケッチは、世界観の表現がブロ顔負けです。さらに、雪上を走るためのクローラーの構造や、救難者をいち早く発見するためのサーチドローンのアイデア、極地での活動をする為の工夫、ツートンカラーのカラーリングなど素晴らしい提案が沢山盛り込まれた作品です。この車両が南極大陸に配備されれば、近い将来、安心して南極旅行にも行ける日が来るかもしれません。

(※資料は自技会提供)

いすゞ／いすゞプラザ ISUZU PLAZA

いすゞ自動車創立80周年記念事業の一環として藤沢工場の隣接地に2017年4月開館。商用車の役割や運ぶを支えるいすゞのくるまづくりと稼働サポート、いすゞの歴史などを紹介。また、ものづくり教室や館内のガイドツアーなどを開催し、地域の皆様とのコミュニティーをつなぐ施設としての役割を目指しています。

「運ぶ」を支えるいすゞ

世界中で活躍するいすゞをさまざまな角度から紹介します。

□いすゞの始まり

エントランスには、いすゞ自動車
が最初にしたトラック「ウーズ
レーCP型」を展示。いすゞの始ま
りの物語を知ることができます。



□「運ぶ」を支える見よう!

日常生活に不可欠なトラックやバスが走る日本最大級のジオラ
マで、皆さんの暮らしといすゞとの関わりを深く感じることができ
ます。

□いすゞの今を感じよう!

普段は近くで見られない最新
のトラックやバスを「さわって」
「乗って」体験できます。



□世界で活躍するいすゞ

100以上の国や地域で働く「いすゞのトラック」と、それを支える世
界中のいすゞの仲間を紹介します。

いすゞのくるまづくり

トラックがどんなふうにしてつくられているのか、実物を見て、体験し
ながら知ることができます。

□トラックが出来るまでを知ろう!

世界中の様々な地域で活躍するいすゞのトラックが、どのようにつ
くられてお客様に届くのかを紹介します。

□稼働サポート

「運ぶ」を止めないために、はたらくクルマをどのようにサポートして
いるのか、体験しながら学べます。

□仕組みを知ろう!

トラックの構造や仕組み、環境へ
の取り組みについて体験しながら
知ることができます。



いすゞの歴史

「運ぶ」を支えてきた、いすゞの歴史をレストア車両やミニチュア
カー、当時の資料などで社史を振り返りながら紹介します。

□歴代の名車

いすゞが生み出してきた数多くの車両を時代背景と共に紹介します。

□技術の歴史

代表的な歴代ディーゼルエンジンの実機と共に、様々な技術の歴史
をテーマごとに紹介しています。

見学予約のお申し込み

火～金曜日にご見学を希望される場合
は、ご予約が必要です。ご来館希望日の2
日前(祝日、休館日を除く)までにご予約
ください。※土曜日、祝日は予約不要です。



<https://www.isuzu.co.jp/plaza/reserve/index.html>
QRコードよりご覧いただけます。

開館日 ●火～金曜日(完全予約制) ●土曜日、祝日(自由見学日)

開館時間 10:00～17:00 (受付16:00まで)

休館日 日、月曜日(祝日の場合は翌平日)、ゴールデンウィーク、
夏季休暇、年末年始

入館料 無料

アクセス

所在地:〒252-0881 神奈川県藤沢市土柵8番地 いすゞプラザ

電車をご利用の場合

- 小田急江ノ島線/相鉄いずみ野線/
横浜市営地下鉄ブルーライン「湘
南台駅」下車
- 湘南台駅(東口3番バス停)から無料
送迎バスを運行しています。
※混雑時にはお乗りいただけない
場合がございます。

お車をご利用の場合

- 圏央道 海老名ICから約10km
- 横浜新道戸塚料金所から約11km
駐車場が満車時には駐車をお断りする
場合がございます。
貸切バスでご来館される方は事前に問
い合わせをお願いします。平日のみ駐車
可能です。



携帯電話・スマートフォンでQRコー
ドを読み取ると、詳細な地図をご覧
いただけます。





東京新聞

もりもと ともゆき
森本 智之

想像力を超える変化……………

⊙ 40歳を目前にした昨年8月、経済部に異動になり、同時に自動車担当を拝命した。まったく思いがけない異動だった。

⊙ ちょうど1年前、まだ異動前の私は、芸術とサブカルチャーを担当する文化部の記者だった。グルメ漫画ブームを牽引した『美味しんぼ』の主人公の名を借り「味覚のない山岡士郎です」と酒席で笑いを狙って恥じない、あまり健全ではない記者だった。

⊙ 先日、30年続いた平成が幕を閉じた。いろいろな切り口で時代を振り返り、評価する報道が相次いだ。時間は誰にも等しく流れる。それぞれの人にそれぞれの思い入れがあるだろう。私も、かつて担当したアニメで時代を振り返ってみたい。

⊙ 平成が幕を開けたころ、日本のアニメは大バッシングの最中にあった。引き金を引いたのは、東京、埼玉での幼女連続誘拐殺人事件。宮崎勤元死刑囚の自室を埋め尽くした大量のビデオテープにマスコミは驚き、犯行との関連を決めつけたような恥ずべき報道が相次いだ。


⊙ 昭和にさかのぼれば、アニメがまだ「テレビ漫画」と言われた時代から、「大人」としてアニメは（もちろん漫画も）好ましい存在ではなかった。1970年代後半、「宇宙戦艦ヤマト」の映画に大学生が行列をなす様子はニュースになった。大人になってもアニメを見るのは変な人だった。その延長線上で、平成の初めごろ「アニメファンは犯罪者予備軍」とみる向きがあったのだ。

⊙ ところが、平成の30年でその立ち位置は大きく

変わった。いま、たとえば『君の名は。』に感動の涙をぬぐう大人がいても、別に引いたりしないだろう。宮崎駿さんの『千と千尋の神隠し』がアカデミー賞に輝いたのが2001年。それより前には、ポケットモンスターの映画が米国で興行収入の記録を作った。カネになることに気づいた国は、誇るべき日本文化としてアニメ・漫画をクールジャパン戦略の中核に位置付けるようになった。もちろん今でもたとえば、「日本画や洋画は高尚でアニメは格下」といった固定観念は根強いのだが。

⊙ さて、素人経済記者の私がこの1年弱、自動車業界取材して思うのは、この変化と比べものにならないくらい急速に進展する変化のダイナミズムだ。

⊙ 私の好きな小説家にカズオ・イシグロさんがいる。代表作の一つ『わたしを離さないで』は重病の人間に臓器を提供するためにつくられたクローンたちの物語だ。このミステリー風のSFは、「そう遠くない未来に起こりうるかも知れない世界」を予感させる。しかも、誰も想像できなかったような物語で。彼がノーベル賞を受賞した時の取材で、知り合いの文芸評論家は「誰もが想像できるなら作品になり得ない」と言った。これは小説にとどまらない。漫画、アニメ、映画、現代美術。あらゆる表現の領域で共通する。

⊙ でも、そんな表現のプロたちももしかしたら想像できないような未来がやってくるのではないか。自動運転やコネクティッド技術の取材などを通じて、ふとそんな風に思ったりもする。…………… 



OPEN FUTURE

TOKYO MOTOR SHOW 2019

第46回 東京モーターショー 2019
10月24日(木) - 11月4日(月・祝)
東京ビッグサイト - お台場周辺エリア